

【事務事業シート】

1

当初

事 項	てんかん地域診療連携体制整備事業費							予算主管課	健康増進課	
事 業 概 要	てんかん患者やその家族への適切な医療や支援を図るため、てんかん支援拠点機関を定めるとともに、協議会や研修等を開催し、関係機関との連携体制の構築を図る。							始期	2024	
								終期	2026	
K P I	愛媛大学医学部附属病院てんかんセンターにおける長時間ビデオ脳波検査件数									
	KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	35 件	目標値	45 件	目標値	55 件	目標値	60 件
	実績値	35 件	実績値	47 件	実績値	51 件	実績値	件	実績値	件
	ストック /フロー	ストック	達成率	134.3 %	達成率	113.3 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	1,967 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			千円	決算額	1,886 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年度

要因分析	要因		
	総括		
見直し方向性	維持	実績値は上昇傾向にあり、7年度も目標値達成もしくはそれに近い値を期待できるため見直しは想定していない。	

2

当初

事 項	重度心身障がい者（児）医療費公費負担事業費							予算主管課	障がい福祉課	
事 業 概 要	重度心身障がい者(児) の医療費の自己負担金を市町が助成する場合に県が一部助成する。							始期	1979	
								終期		
K P I	受給者数									
	KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	34000 人	目標値	34000 人	目標値	34000 人	目標値	34000 人
	実績値	31548 人	実績値	31116 人	実績値	30363 人	実績値	人	実績値	人
	ストック /フロー	フロー	達成率	91.52 %	達成率	89.3 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	1,566,194 千円	最終現計 予算額	1,564,621 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			1,418,855 千円	決算額	1,389,225 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年度

要因分析	要因 目標を達成できなかった要因としては、受給者の高齢化及び人口減少に伴い、新規受給者数の伸び率が死亡等の理由による資格喪失者を上回らなかったのではないかと考えられる。		
	総括		
見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は目標値をやや下回っているが、人口減少や高齢化によるものと推測できることから、7年度以降もKPIは概ね目標値に近い実績となると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。	

3

当初

事 項	心身障害者扶養共済事業費										予算主管課		障がい福祉課		
事 業 概 要	心身障害者の保護者の死亡後等に心身障害者に年金を支給する心身障害者扶養共済制度の運営及び加入者に対する掛金の助成を行う。										始期		1970		
											終期				
K P I	新規加入者数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	18 人		目標値	23 人		目標値	28 人		目標値	33 人		
	実績値	人		実績値	21 人		実績値	13 人		実績値	人		実績値	人	
	ストック /フロー	フロー		達成率	116.67 %		達成率	56.5 %		達成率	%		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	1,251,674 千円		最終現計 予算額	1,259,186 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				1,237,055 千円		決算額	1,239,704 千円		決算額	千円		決算額	千円		

6
年
度

要因分析

要因

掛金保険料に対する補助事業や県内特別支援学校及び市町の障がい福祉担当課に向け制度の周知を行ったが、新規加入者数が伸び悩み、未達成率となった。

総括

見直し方向性

改善

6年度のKPI実績としては、制度の周知先の1つである特別支援学校の入学者の減少等を理由に目標値には及ばず、7年度も同様の状況が見込まれるため、7年度の執行から、県内障がい児関係団体を周知先に加え、また、掛金保険料の補助についても合わせて周知を行うことで、制度の認知度向上を拡げる改善を図り、更なる成果の向上につなげる。

4

当初	事 項	更生医療費等負担金						予算主管課		障がい福祉課		
	事 業 概 要	身体障がい者に対し更生医療費の支給及び療養介護医療費の支給等を行う。						始期		1950		
								終期				
K P I	自立支援医療（更生医療）給付実人員											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	2412 人		目標値	2412 人		目標値	2412 人		
	実績値	2514 人		実績値	2285 人		実績値	2237 人		実績値	人	
	ストック /フロー	フロー		達成率	94.74 %		達成率	92.7 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	538,398 千円		最終現計 予算額	574,622 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	487,037 千円		決算額	475,695 千円		決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因 全給付実人員のうち多くを占める腎臓機能障害による人工透析療法等の給付実人員の減少による。										
		総括										
	見直し方向性	維持	法律により都道府県が費用の一部を負担するものとされており、県による裁量の余地はないが、6年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。									

5

当初、2 月補正	事 項	障害者介護給付費等負担金						予算主管課		障がい福祉課	
	事 業 概 要	介護給付費(訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス)、訓練等給付費、特定障害者特別給付費、補装具費等に要した費用の一部を負担する。						始期		1949	
								終期			
	K P I	施設系サービス利用者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人
		実績値	15245 人	実績値	16102 人	実績値	17132 人	実績値	人	実績値	人
		ストック /フロー	フロー	達成率	107.35 %	達成率	114.2 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	9,046,487 千円	最終現計 予算額	10,009,480 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			8,927,797 千円	決算額	9,891,885 千円	決算額	千円	決算額	千円	
	6 年 度	要因分析	要因								
総括											
見直し方向性		維持	法律により都道府県が費用の一部を負担するものとされており、県による裁量の余地はないが、6年度の実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、7年度以降も現状の二ーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。								

6

当初

事 項	心身障がい者（児）歯科巡回診療事業費							予算主管課	障がい福祉課	
事 業 概 要	歯科巡回診療車を心身障がい者(児) 施設等へ派遣して歯科検診を実施する。							始期	1975	
								終期		
K P I	歯科巡回診療の利用者数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	2500 人	目標値	2500 人	目標値	2500 人	目標値	2500 人
	実績値	2339 人	実績値	2744 人	実績値	2246 人	実績値	人	実績値	人
	ストック /フロー	フロー	達成率	109.76 %	達成率	89.8 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	9,355 千円	最終現計 予算額	8,818 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			9,351 千円	決算額	8,818 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年
度

要因分析	要因 計画通り障がい者施設に歯科巡回を行っているものの、当日の体調等により、受診対象者のすべてが受診できなかったため、未達成となった。	
	総括	
見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成と考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。

